

平成 20 年 7 月 14 日

各 位

西日本シティ銀行

「第 67 回九州の経営動向調査」結果のお知らせ

西日本シティ銀行（頭取 久保田勇夫）は、四半期毎に当行のお取引先様のご協力を得て、経営動向調査を実施しております。このたび、第 67 回の調査結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

1. 調査対象企業について

- ・ 当行の主要取引先 763 社（回答企業数 346 社、回答率 45.3%）
- ・ 回答企業：福岡県内企業 78.6%、中小企業 79.8%

2. 景況感概要

- ・ 景況感については、全産業では 5 期連続「悪化」超幅を拡大した。製造業は 3 期連続、非製造業は 6 期連続「悪化」超となった。
- ・ 全産業とも、原油高、原材料の高騰、米国景気変動等の懸念材料が高まり、景気回復に足踏み感が見られる。
- ・ 先行きについては、製造業・非製造業ともに「悪化」傾向に変化はないが、「悪化」超幅は縮小する見通しとなっている。

景況感 B S I

	19 年 4 月 ～ 6 月期	19 年 7 月 ～ 9 月期	19 年 10 月 ～ 12 月期	20 年 1 月 ～ 3 月期	20 年 4 月 ～ 6 月期	20 年 7 月 ～ 9 月期 (見通し)
製 造 業 (改善ポイント)	+11.2 (+2.5)	+8.3 (2.9)	3.2 (11.5)	18.6 (15.4)	22.2 (3.6)	13.3 (+8.9)
非 製 造 業 (改善ポイント)	6.2 (3.9)	9.3 (3.1)	7.9 (+1.4)	18.3 (10.4)	22.0 (3.7)	15.2 (+6.8)
全 産 業 (改善ポイント)	1.8 (2.4)	4.5 (2.7)	6.5 (2.0)	18.4 (11.9)	22.1 (3.7)	14.7 (+7.4)

3. 個人消費の動向

現在の個人消費は「良い」と回答した企業が 3% に対し、「悪い」と回答した企業は 70% となっており、「悪い」超となった。前回調査と比べると「良い」がほぼ横這い、「どちらとも言えない」が 7 ポイント減少、「悪い」が +6 ポイント増加した結果、前回より悪化となった。また、先行きの個人消費についても、前回調査と比べると「好転」がほぼ横這い、「変わらず」が 6 ポイント減少、「悪化」が +6 ポイント増加した結果、前回より悪化となった。

4. 設備投資について

平成 20 年度の設備投資見通しは、全産業計で前年度実績比 15.5% の減少となった。

以上

詳しくはこちらでご確認いただけます。 [第67 回九州の経営動向調査](#)

本件に関するお問合せ先
審査統括部 江藤 (TEL 092-476-2781)

当調査は情報提供を目的として作成されたものであり、その正確性・確実性を保証するものではありません。